

 <p>市長 水野義則</p>	<p>愛知県 おわりあさひし <b>尾張旭市</b> みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭</p>	<p>【データ】※平成30年4月1日現在 人口：83,372人 世帯数：34,836世帯 面積：21.03㎢ 市の花：ひまわり 市の木：くすのき 特産物：イチジク プチヴェール</p>
 <p>市章</p>	 <p>尾張旭市イメージキャラクター 「あさびー」</p>	

## ■ 尾張旭市の紹介

尾張旭市は、愛知県の北西部に位置し、名古屋市の中心部から約15kmと、通勤、通学などに恵まれた立地にあります。

北部には、市域の6分の1(3.62㎢)を占める愛知県森林公園(昭和61年全国森林浴100選の森に制定)をはじめとして、樹林地や公園、大小のため池などがあり、身近なところで豊かな自然にふれあうことができるバランスのとれたまちです。

愛知県森林公園は、平成31年春季開催「第70回全国植樹祭」の会場に選ばれています。

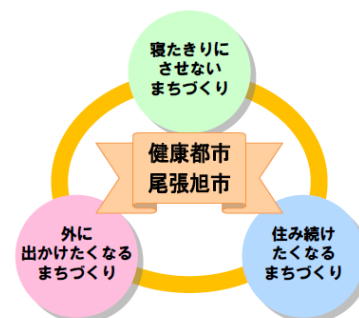


## ■ 健康都市のあゆみ

尾張旭市は、平成16年6月にWHO(世界保健機関)西太平洋地域健康都市連合に加盟し、同年8月に「健康都市宣言」を行いました。翌年4月には、健康都市連合日本支部設立の発起人メンバーとなり、同年12月に「尾張旭市健康都市プログラム」を策定しました。

「尾張旭市健康都市プログラム」では、「寝たきりにさせないまちづくり」、「外に出かけたくなるまちづくり」、「住み続けたいくなるまちづくり」の3つを施策の方針に定め、まち全体で「健康都市 尾張旭」をめざしています。

平成28年8月には、第7回健康都市連合国際大会において、地域、医療機関、民間企業等と連携した非常時の取り組みが評価され、WHOからベスト・プラクティス賞を受賞しました。



## ■ 代表的な健康都市の取組

### ◆ 脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」

平成25年5月から全国の自治体で初めて、認知症の前段階といわれる軽度認知障がいスクリーニングテスト「あた



(「あたまの元気まる」実施中)

まの元気まる」を始めました。約10分間の対面式で簡単な質問に答えるもので、平成29年度は735人が受検されました。

#### ◆ 自主グループによる筋力トレーニング

日常生活に必要な筋力の維持・増進を図り、将来にわたって自立した日常生活を送ることができるよう、市と健康づくり推進員が協働で「らくらく筋トレ体操」を広めています。地域の公民館や集会所を利用することで、地域コミュニティが形成され、生きがいつくりや閉じこもり予防も図られています。平成30年3月末現在で、61の自主グループ、約1,400人が取り組んでいます。



(仲間と一緒に筋力トレーニング)

#### ◆ 食育紙芝居

健康づくり食生活改善協議会は、手作りの食育紙芝居を市立保育園で披露しています。食べ物を4色に分け、それと同色で手作りした衣類を着て紙芝居をすることで、わかりやすく「食」の大切さを伝えています。



(保健センターで紙芝居を披露)

#### ◆ ニュースポーツ体験会

スポーツ推進委員は、市民の体力向上や健康の維持・増進を図るため、誰でも気軽にスポーツを楽しめるニュースポーツの体験会を開催しています。平成29年度は301人が参加し、自ら進んで運動できるきっかけづくりとなっています。



(「ニュースポーツ」体験中)

#### ◆ あさひ健康マイスター

「あさひ健康マイスター」は、1年間を通じて市や市民団体などが主催する事業や市民団体の活動に参加して、多くのポイントを貯めたかたを表彰する制度です。規定ポイント以上を貯めたかたは、あさひ健康マイスターとして表彰します。中でも、5年連続で健康マイスターのかたをシルバーマイスター、10年連続のかたをゴールドマイスターと呼び、今年初めてゴールドマイスターが誕生しました。



(健康マイスター表彰式)

平成29年度からスポーツイベントだけでなく、各種（文化教養）講座や自治会活動も対象事業となり、楽しみながら参加していただけるようになりました。「健康都市」を掲げる尾張旭市が、楽しく継続的な健康づくりを目的に多くの市民の皆さんが参加している事業です。

**担当 尾張旭市 企画部 秘書課 健康都市推進室 電話 0561-53-2111 (代表)**